

高美小学校内 TM だより

R7.7.25. NO.17

学力校内研修会を行いました。事前に先生方にアンケートに答えていただき、結果をもとにグループで意見を出し合いました。

授業づくりを行うにあたって、先生方の悩みを共有することができ、それらをふまえて全体で多くの意見を出し合うことができ、たいへん実りの多い時間になったと感じています。以下にまとめます。



★教材研究・準備について★

○国語○

・単元計画…全体の学習計画をたてると子どもたちも学習の見通しをもちやすい。初発の感想から学習計画を立てたい。低学年から積み重ねていくことで、高学年になったら自分たちで学習計画を立てることができるようになるのでは。

・説明文…どこに視点をあてるのか、学年の実態に合わせると、自分の考えをもつことができる児童が増えるのではないか。

説明文に対する疑問のもち方を低学年から積み重ねていくことが大切。

1, 2年で説明文の種類がちがうため、思い出すのが難しい。つながりを意識して指導していく必要がある。

・型にはまった文章なら書けるが、自分で構成を考えて書くことが苦手な児童が多い。説明文を書く宿題を出すなど、様々なジャンルの文章を書く経験を積ませるとよいのでは。

○道徳○

・教材の話と、自分の経験とを照らし合わせたとき、経験のない子もいる。大人の経験を伝えてあげるとよいのでは。

★授業中について★

・表現する場の設定について、思いや意図を自分の言葉で伝えられるようにするために朝の会でペアトークをしている。少人数の場だとしゃべる機会が多くなる。授業中でも発表前にもペアでしゃべる時間が大切だと思います。

○めあてについて○

・めあてを子どもたちの疑問や気づきからたてるにあたり、こちらがある程度めあてをもっておくことが大切。こちらのめあては幅を大きめにしておいた方が、子どもたちとのやりとりの中で、子どもたちの言葉を使ってめあてをたてやすい。

・単元のゴールを先に示し、ゴールに向かってひとつずつめあてをたてる。

・グループでめあてを考えさせて、それをつなげて一つのめあてをつくらせてみてはどうか。

○社会○

・単元の初めにたくさんの疑問を出すことができるが、時間の都合上すべて解決はできない。授業のなかで取り上げることができなかつた疑問は、自主学習のテーマにするとよいのではないか。

・出てきた疑問を、さらに厳選する作業も必要。

★振り返り★

・めあてを立てることは出来ても、実際の学習ではうまく立ち行かず「できた」が無いまま授業が終わり、ふりかえりも何を書けばいいか分からなくなってしまっている。何のためにこの学習をしたのかを上手くイメージできていないことで、振り返りに結びつかない。

→「できた」「おもしろかった」が子どもたちに必要。みんなでめあてをたてることで、課題を自分事としてとらると、振り返りの際にめあてに立ち返りやすくなる。

★先生方の振り返り・感想★

・先生方が普段どうされているのかを聞くことができ勉強になりました。また、話すことで、自分の頭の中も整理された気がします。できることから一つ一つチャレンジしていきます。また先生方の授業見に行かせてください！

・たくさん課題も悩みもありましたが、みんなで同じ方向に向かえるような機会になったと思います。具体的な方法を示してもらったところもあり、クラスの子たちにあった活動を2学期取り組めたいなと思いました。

～二学期以降の取り組みについて～

・タブレットを活用して、はてなみつけをする。

・グループワークが好きな児童が多いので、活動を通して話し方や聞き方を身につけさせたい。

・単元計画を子どもたちと確かめながら進めていく。

・初発の感想から単元計画を立てていく。

・自分の考えをもって、他者との意見交流を行う。学びに向かう力をつける。

・疑問をもち、解決に向けて他者の意見を取り入れ、よりよい文章や発表をめざすことを目標に、話し合い活動に取り組む。